

## 製品安全データシート



---

### 1, 化学物質等及び会社情報

会社名 純正化学株式会社  
本社住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-4-16  
電話番号 03-3270-5426 FAX 番号 03-3270-5418  
担当部門 試薬部担当者 菅野英奇  
住所 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町 1-6  
緊急連絡電話番号 0489-86-6161 FAX 番号 0489-89-2787  
作成日 2000年11月13日  
改訂日 2001年1月23日  
整理番号 53080  
製品名 (容量分析用) 1/60mol/L ニクロム酸ナトリウム溶液  
1/60mol/L Sodium dichromate solution

---

### 2, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：単一製品

#### 成分 1

化学名：ニクロム酸ナトリウム

別名：重クロム酸ナトリウム

化学式：Cr<sub>2</sub>Na<sub>2</sub>O<sub>7</sub>·2H<sub>2</sub>O

CAS No: 7789-12-0

分子量：261.97

含有量：約 0.43%(4.366g/L)

化審法：1-283

安衛法：公表

#### 成分 2

化学名：水

化学式：H<sub>2</sub>O

CAS No: 7732-18-5

含有量：成分 1 の残量

化審法：局方

安衛法：公表

---

### 3, 危険有害性の要約

分類の名称

1. 急性毒性物質。

2. その他の有害性物質。

危険性 危険度を 0～4 の 5 段階で表示

火災 0(危険無)

人体 1(要注意)

反応 1(要注意)

1. 有毒である。
2. 強い酸化性がある。

有害性

吸入した場合

1. 鼻、のど、気管支等の粘膜が侵される。

皮膚に触れた場合

1. 皮膚炎、又は潰瘍をおこす。

眼に入った場合

1. 粘膜を刺激して結膜炎をおこす。

---

#### 4, 応急措置

眼に入った場合

1. 清水で十分に洗い流す。
2. 医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

1. 汚染された衣服や靴をぬがせ、付着又は接触部を清水で十分に洗い流す。
2. 医師の診断を受ける。

吸入した場合

1. 新鮮な場所に移し衣服をゆるめ、毛布等でくるみ保温する。
2. 医師の診断を受ける。

---

#### 5, 火災時の措置

消火方法

1. 周辺火災の場合の処置は次による。
  - ・容器を安全な場所へ移動する。
  - ・移動不可能な場合は、容器を破損しないように注水し、冷却する。
  - ・周辺火災の消火に努める。

消火剤

1. 水

---

#### 6, 漏出時の措置

1. 土砂等で漏えいの拡大防止を図り、防水シート等で表面を被覆し回収する。
2. 回収後、硫酸第一鉄等の還元剤水溶液で除害する。

---

#### 7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

1. 有毒。
2. 腐食性。
3. 強酸化剤。
4. 発癌性。
5. 皮膚から容易に吸収。
6. 可燃物。
7. 熱源、火花、裸火との接触禁止。
8. 他の物質と接触して火災となることがある。
9. 粉塵の吸入を避ける。
10. 眼、皮膚、衣服との接触を避ける。

11. 長時間または反復の曝露を避ける。
12. 取扱後完全に洗浄。
13. 燃焼を助長する。

#### 保管

1. 増感性。
2. 密封。
3. 冷乾燥場所に保管。

### 8, 暴露防止及び保護措置

管理濃度：0.05mg/m<sup>3</sup>(Cr として)

許容濃度

ACGIH(93年～94年)：TLV-TWA 0.05mg/m<sup>3</sup>(Cr( )、Crとして)

日本産業衛生学会勧告値(94年)：0.05mg/m<sup>3</sup>(Cr( )、Crとして)

OSHA：PEL TWA 0.1mg/m<sup>3</sup>(CrO<sub>3</sub>として、上限値)

NIOSH：REL TWA 0.025mg/m<sup>3</sup>(Cr( )として)

MSHA：TWA 0.5mg/m<sup>3</sup>(Crとして)

設備対策

貯蔵上の注意

1. 増感性。
2. 密封。
3. 冷乾燥場所に保管。

保護具

1. 局所排気または呼吸用保護具。
2. 保護手袋。
3. 保護衣。
4. 安全シャワー。
5. 安全ゴーグル。
6. 洗眼器。

### 9, 物理的及び化学的性質

外観等：オレンジ色の液体。

沸点：約 100 (水)

融点：約 0 (水)

蒸気圧：14mmHg@20 (水)

水蒸気密度(空気 = 1)：0.7(水)

溶解性：水に溶ける、有機溶剤：知見なし

### 10, 安定性及び反応性

加熱・燃焼

1. 400 で分解し酸素を発生する。

水との接触

1. 水溶液でも有毒である。

空気との接触：危険性無

混触等

1. アルミニウム、マグネシウム等と接すると発火する危険がある。
2. 無水酢酸と接すると発熱し爆発することがある。

3. 木、紙、油等の可燃物を着火させることがある。

#### 11, 有害性情報

皮膚に触れた場合

1. 皮膚炎、又は潰瘍をおこす。

眼に入った場合

1. 粘膜を刺激して結膜炎をおこす。

吸入した場合

1. 鼻、のど、気管支等の粘膜が侵される。

急性毒性 (RTECS)

経口毒性

ラット LD50 50mg/kg

経皮毒性

モルモット LDLo 335mg/kg

静脈注射

マウス LDLo 26,200 µg/kg

ラビット LDLo 18,400 µg/kg

カエル LDLo 196mg/kg

腹腔内注射

モルモット LDLo 335mg/kg

皮下注射

ラット LDLo 80mg/kg

モルモット LDLo 23mg/kg

#### 12, 環境影響情報

分解性：知見なし。

蓄積性：知見なし。

魚毒性：知見なし。

#### 13, 廃棄上の注意

- 還元沈殿法：希硫酸に溶かし、クロム酸を遊離させ、還元剤（硫酸第一鉄など）の水溶液を過剰に用いて還元したのち消石灰、ソーダ灰等の水溶液で処理し、水酸化クロム（ ）として沈殿ろ過する。溶出試験を行い、溶出量が判定基準以下であることを確認して埋立処分する。
- 廃棄の専門業者に依頼する。

#### 14, 輸送上の注意

毒物及び酸化性物質類についての一般的注意事項に従うこと。

#### 15, 適用法令

PRTR法（種類 - 政令番号）：特定 1-69(六価クロム化合物、濃度 0.1%以下のものを除く)

毒物及び劇物取締法：第 2 条別表第 2 劇物（重クロム酸塩類及びこれを含有する製剤）

海洋汚染防止法：施行令別表第 1 有害液体物質（C 類）（溶液 70 重量%以下のもの）

#### 16, その他の情報

参考文献

化学品安全管理データブック 増補新版（化学工業日報社）

---

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途，用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。